



2021年2月4日

各位

会社名 第一生命ホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 稲垣 精二  
(コード番号:8750 東証第一部)  
問合せ先 経営企画ユニット IRグループ  
(TEL 050-3780-6930)

---

---

## 資産運用会社 Janus Henderson Group plc との資本関係の解消と 同社との新たな業務提携契約の締結および特別利益(単体・連結)の計上について

---

---

第一生命ホールディングス株式会社(社長:稲垣 精二、以下「当社」)は、当社関連会社である資産運用会社 Janus Henderson Group plc (以下「ジャナス・ヘンダーソン社」)との出資・業務提携契約<sup>1</sup>を解消し、新たな業務提携契約を締結することに合意したことをお知らせします。

出資・業務提携契約の解消に伴い、本日付で当社から派遣するジャナス・ヘンダーソン社の非常勤取締役は退任し、ジャナス・ヘンダーソン社は当社の非関連会社となります。また、当社は保有するジャナス・ヘンダーソン社の全普通株式を、本日(米国時間)、米国での売出しの方法により売却する予定です。

今回の資本関係の解消は、来年度からスタートする当社の新たなグループ中期経営計画を見据え、グループ事業への資本配賦について見直しを行ったものです。資本関係は解消されることとなりますが、当社とジャナス・ヘンダーソン社は、8年に亘って築き上げたビジネスリレーションを今後も維持・強化していくことで合意し、新たに業務提携契約を締結しました。新たな業務提携契約では、両社 Win-Win の成長につながる協業に取り組んでいきます。

### 1. 資本関係の解消の背景

当社は、2012年の Janus Capital Group Inc.(現ジャナス・ヘンダーソン社)との出資・業務提携以降、資本関係を通じたグループ利益への貢献とともに、運用委託や人材派遣等を通じて、当社グループ各社の資産運用競争力の向上やアセットマネジメント事業に関するノウハウの獲得を進め、当社の「資産運用・アセットマネジメント事業」の成長加速を実現してきました。

今回、ジャナス・ヘンダーソン社への出資による一定の成果を実現した中で、来年度からスタートする当社の新たなグループ中期経営計画における事業戦略等を見据えたグループ全体の資本配賦について見直しを行った結果、ジャナス・ヘンダーソン社とも協議の上、資本関係を解消するとの合意に至りました。

---

<sup>1</sup> Janus Capital Group Inc.(現ジャナス・ヘンダーソン社)と2012年8月に締結し、2016年10月に改定した出資・業務提携契約

## 2. 新たな業務提携契約締結の意義

当社とジャナス・ヘンダーソン社は、当社グループの国内外生命保険会社への運用機能提供やみずほフィナンシャルグループと共同出資する国内の資産運用会社アセットマネジメント One との協業等を通じて、当社独自のグループシナジー創出に協働で取り組み、双方にとって有益なビジネスリレーションと信頼関係を築いてまいりました。

資本提携解消後も、両社にとってお互いが引き続き重要な戦略的パートナーであることに変わりはなく、これまでに築きあげた関係をさらに強化していくこと、国内外の資産運用分野における協業を続けていくことで合意し、新たな業務提携契約を締結しました。また、ジャナス・ヘンダーソン社の国内事業へのサポートを目的として、当社とジャナス・ヘンダーソン社日本法人とのシニアマネジメントレベルでの人財交流も予定しています。

## 3. 特別利益の計上について

今回のジャナス・ヘンダーソン社株式の売却に伴い、2021年3月期の当社個別決算および2021年3月期連結決算において、関係会社株式売却益として特別利益を計上する見込みです。

特別利益の計上見込額につきましては、売却価格が決定次第速やかに公表いたします。

(参考) <ジャナス・ヘンダーソン社の概要>

名称	Janus Henderson Group plc
事業内容	資産運用事業
設立	2017年5月30日
代表者(CEO)	リチャード・ワイル(Richard Weil)
本社	英国ロンドン
上場	ニューヨーク証券取引所、オーストラリア証券取引所
時価総額	59億米ドル(2020年12月末時点)
運用資産残高	3,583億米ドル(2020年9月末時点)
当期純利益	428百万米ドル(2019年12月期)
当社出資比率	17.0%(2020年12月末時点)

以上